

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	道路施設	小分類	交通施設	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名	阪神大震災直後の国道2号線・西宮北交差点におけるバスレーン設置方式の検討						
	目的・概要	阪神大震災直後に、国道2号線上り方向では西宮北交差点が大きなボトルネックとなり、時には50kmをこえる渋滞も発生していた。この主な原因は、バスレーンがボトルネック交差点の停止線部まで設定されていたためであり、これを少し上流にまで短縮してやり、交差点容量が増加させることが有効な解決策であると指摘されている。このため、シミュレーションを行い、どの程度の容量改善が達成できるかを評価した。						
	本事例におけるモデル適用上の特徴	バス専用車線を任意の区間で指定できるようにした。						
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	国道2号線上りの1km区間	対象時間帯	ピーク1時間				
	評価対象時期	1995年(阪神大震災発生年)						
	対象道路網	一般街路ネットワーク						
	ネットワーク規模	ノード数	5	リンク数	4	起終点ノード数	4	総トリップ数
		一般街路ネットワーク	交差点数		信号交差点数	1	道路区間数	
		自専道ネットワーク	分岐部数		出入口数		道路区間数	
	特記事項							
<p>(ネットワークの概略図面を添付)</p> <p>●バス専用車線の指定区間を評価する 区間長、交差点からの距離など</p>								
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度					
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数					
		合流部						
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット					
		作成方法	標準的な値を設定					
	交通需要	設定単位	OD交通量					
		作成方法	センサス交通量から作成					
空間単位								
時間単位		1時間						
車両属性区分	小型、大型、バス							
その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan方式、1秒/1スキャン						
	パケットサイズ	1台/パケット						
	経路選択原理	経路選択の必要なし						
	特記事項							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ						
		方法						
	検証方法							
	検証用データ取得方法							
出力データ	西宮北交差点の通過交通量 バスの旅行時間							
記入者	所属機関・部署	東京大学生産技術研究所 第5部 桑原研究室						
	電話	03-5452-6419	FAX	03-5452-6420				
公表文献・資料等	AVENUE 研究グループ HP < http://tenhoo.iis.u-tokyo.ac.jp/~poepoe/avenue >							